

中国語読み上げソフトを使った聴取、発音チェック方法

砂岡和子 2011年5月22日

1 合成音声の語学利用の効用

合成音声は、母語話者の自然な発話の断片を繋いで合成する。技術の進歩により、合成音は限りなく母語話者に近づいている。外国語学習者が合成音声を利用するメリットは次の4点に集約できる。

- (1) 母語話者に近い自然な発話を
- (2) 随意的テキストを入力し
- (3) 速度や再生回数、声質（男声・女声）、イントネーション（抑揚）などを変えて
- (4) 繰り返し聴取できる

自分が正しくシャドーイングできているか判断するには、自分の声を録音して、これを再生チェックすることによって、実際にどの程度、自分が原文のプロソディー諸要素を正しく聞き取り、再現できているかチェックできる。録音方法については第二章、プロソディー分析については第三章を参照のこと。

2 録音による自身のシャドーイングチェック方法

601室、学内のPC室では標準仕様で「サウンドレコーダー」（「プログラム」→「アクセサリー」→「サウンドレコーダー」）が入っている。これを立ち上げて自分の発音を録音再生する。

3 プロソディー分析

ネイティブ並みの発音に慣れていない学習者の場合は、合成音の利用、ことにシャドーイングは速すぎて付いてゆけない。その場合は以下のコースから自分に適したコースを選び、プロソディーの分析を行い、欠点をチェックした後、再度シャドーイングを続けるとよい。

A コース 声調シャドーイング

シャドーイング用テキストを、短いセンテンスか単語に区切り、ピンインと声調情報を確認しながら、声調の基本型を忠実に再現できるかチェック練習を行う。

特に **2声** と **3声** は難しい。3+3 は 2+3 声に、4+4 は 2+4 声に **変調** する。

シャドーイング用テキスト中の、2声、3声を含む単語や、変調する語彙を繰り返し聴取して発音練習する。

語彙や文型により変調や抑揚に違いがあるが、**基本声調パターン**（普通話では 5 種類）が型崩れすることなく、**2 音節リズムのセンテンスピッチ**（音の高低）を連続して描くようになれば、あなたの中国語は通じる。

B コース 発音基礎チェック

シャドーイング用テキスト中から、以下の子音や母音を含む単語を選び、そのピンインと声調情報を確認しながら、発音できるかチェック練習を行う。

子音 **z, c, s, j, q, x** などの発音に注意。**f** と **h** は異なる子音

単母音 **a, u, yu** 複母音 **uo, ou, ian, ue** など発音に注意

鼻音 **-n** と **-ng** を明瞭に発音仕分ける

あなたの中国語はより自然な発音になる。

C コース 全体の仕上げ確認

声調の型を保持したまま、張りのある大きな声で、ピッチとイントネーションを無理なくシャドーイングできるよう練習を行う。あなたはネイティブ並みの中国語を発話できる。